

図書だより 夏号

志布志高等学校図書館

令和元年7月23日 発行

夏の特別貸出始めます

1人5冊 返却期限：9月6日（金）まで

開館時間：8：30～16：45

冷暖房の入っている時期は、図書室内でも飲み物は飲んでよいことになっています。

（熱中症・脱水症防止のため。）

食事は、図書室入り口前、ソファのスペース等でお願ひします。



夏休み開館カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
21 ×	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ×
28 ×	29 ○	30 ○	31 ×			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1 ○	2 ×	3 ×
4 ×	5 ○	6 ○	7 ×	8 ×	9 ×	10 ×
11 ×	12 ×	13 ×	14 ×	15 ×	16 ×	17 ×
18 ×	19 ○	20 ○	21 ○	22 ○	23 ×	24 ×
25 ×	26 ○	27 ○	28 ○	29 ○	30 ○	31 ×

○ → 終日開館
× → 終日閉館

夏休み中も図書館は開館しています。図書館の開館カレンダーを参考にしてください。

変更のあった場合には、図書室入り口の掲示板にてお知らせします。



寄贈本の紹介



3年生の廊下・渡り廊下の前に、本棚が設置されています。通称「岩切文庫」と皆が呼んでいるものです。

これは旧・社会科職員の岩切先生が、志布志高校生の為に寄贈して下さったものです。特に3年生の小論文対策に役立つようにと、新書や小論文対策本、文学賞受賞作など分野を問わず、様々な内容のものが揃っています。今年度も新たに寄贈された119冊の本の中から、数冊紹介します。



街場の読書論 【新潮新書】

内田樹 著，新潮社，



本はなぜ必要か。強靱でしなやかな知性は、どのような読書から生まれるのか。ウチダ的知性の読書法を教える、21世紀とその先を生き抜くための滋味たっぷり、笑って学べる読書案内。

新書365冊 【朝日新書】

宮崎哲也 著，朝日新聞社，



斯界きっての「新書読み」として名高い著者が、巷にあふれる新書を読み、評価する。ジャンル別ベスト新書に加え、「ワースト」や、新書ブームの現状を読む論考も収録。『諸君!』連載を書籍化。

何のために「学ぶ」のか

【筑摩フリマー新書】

外山滋比古 ほか著，筑摩書房，



大事なものは知識じゃない。正解のない問いに直面したときに、考え続けるための知恵である。変化の激しい時代を生きる若い人たちへ、学びの達人たちが語る、心に響くメッセージ。

ワークショップ ～新しい学びと創造の場～

【岩波新書】

中野民夫 著，岩波書店，



学校教育、企業研修、市民運動などの現場で注目されている参加体験型、双方向性を特徴とする新しい学びと創造の手法=ワークショップ。その企画・運営に携わってきた著者が、豊富な事例をもとにその意義を語る。